

製品名: AKT1/2/3 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe83751**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ICC,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.34mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,ICC 1:50-1:200,FC 1:20-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	56 kDa

抗原情報

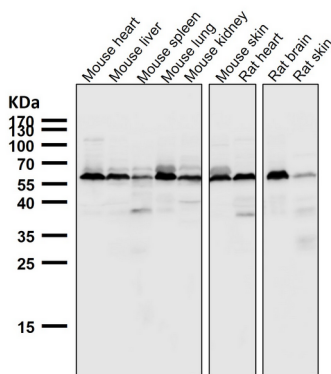
遺伝子名	AKT1/2/3
別名	PKB;RAC;PRKBA;PKB-ALPHA;RAC-ALPHA; AKT1 ; AKT2; AKT3; Akt1/2/3; pan Akt;;AKT
遺伝子 ID	
SwissProt ID	P31749/P31751/Q9Y243
免疫原	ヒト AKT1 由来の合成ペプチド

背景

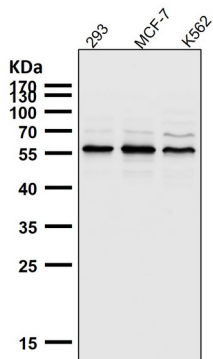
AKT1 遺伝子によってコードされるセリン-スレオニンプロテインキナーゼは、血清飢餓状態の初代培養線維芽細胞および不死化線維芽細胞において触媒活性を示さない。AKT1 および関連遺伝子である AKT2 は、血小板由来増殖因子によって活性化される。この活性化は迅速かつ特異的であり、AKT1 のプレクストリン相同ドメインの変異によって阻害される。

研究分野

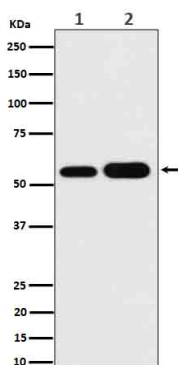
画像データ



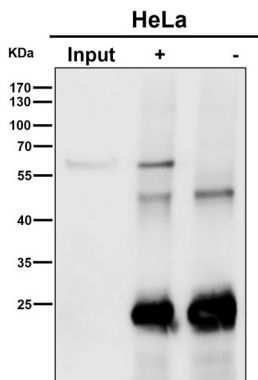
すべてのレーンでは、抗体を 1:2K 希釈で室温で 1 時間使用します。



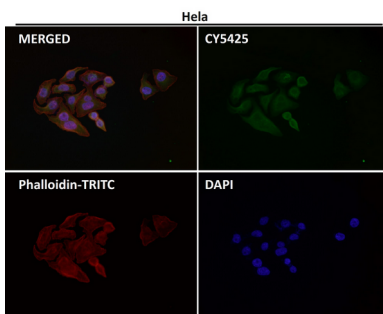
すべてのレーンでは、抗体を 1:2K 希釈で室温で 1 時間使用します。



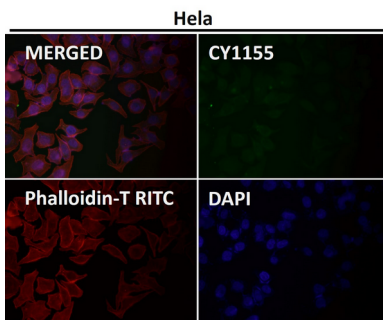
(1) HeLa 細胞溶解物、(2) A549 細胞溶解物における AKT1 + AKT2 + AKT3 発現のウエスタンブロット解析。



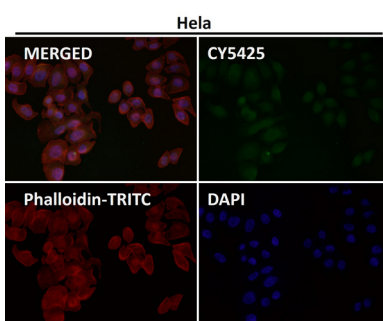
1:50 希釈の抗体を使用した免疫沈降 (IP) 分析。 (1:1K 希釈の wb)



1:50 希釈の抗体を使用した免疫蛍光分析。



1:50 希釈の抗体を使用した免疫蛍光分析。



1:150 希釈の抗体を使用した免疫蛍光分析。